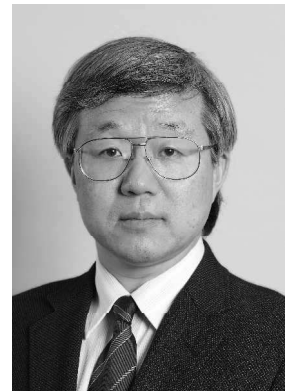


仕事づくり・市場開拓セミナー

自社の存在価値とは？自社が社会に貢献できることとは？

講師 **名古屋工業大学 江龍 修氏**
＜産学官連携・社会連携担当 副学長＞



名古屋工業大学オリジナルMOT（技術経営）プログラムを活用して、
新たな仕事を生み出し、永続的に維持発展できる企業への変革を目指します。

■期 間 **2017年3月～2018年3月**

※開催日の詳細は裏面をご覧ください。

■会 場 **岐阜駅周辺の会議室**

主にハートフルスクエアGを予定

■参加費 **一講座につき**

ひとり1,000円

※毎回終了後、岐阜駅周辺で懇親会を行ないます。
参加費は実費5千円程度。

■対 象 **※新たな仕事づくりを目指し、
主体的に関われる方（社員同伴可能）**

＜目的＞

- ①事業継続、新規事業創造、第二創業を実現するために、参加企業それぞれの強みを自らが見出し、将来のビジョンを表現する。
- ②表現した将来のビジョンから、自らに足りない中核能力を定量的に知ること、開発・協業のためのビジネスモデルを描く。

＜目標・来年3月、ここを目指します＞

①売れ続けるモノを生み出す

自社・顧客関係性シートなどから自社が顧客から選択されている理由を知り、バリューブリッジを自ら構築することで、自社ならではのビジョンの策定とその到達点を知る。

②将来ビジョンに向け新規事業を創造する

DICフレームを用いて事業創造イメージを作り、帰納法・演繹法を用いて自社の中核技術を定める。

※枱を作り続けて67年、

(有)大橋量器の事例を交えながら、
わかりやすく説明いただきます。



＜江龍修氏 プロフィール＞

昭和37年10月6日生まれ。筑波大学大学院 工学研究科 博士課程 物質工学専攻終了 工学博士。物質を原子レベルで制御する独自技術を確立し、圧倒的な半導体加工技術や単結晶材料の開発力を有する。研究開発だけに留まらず、平成19年には、シリコン・カーバイド (SiC) の表面加工技術を駆使した大学発ベンチャー「SiCツールズLLC」を起業し、技術開発最高責任者を務める。また、応用物理学会東海支部企画委員長、MOT学会幹事、NEDO技術委員会委員、中部電力技術委員、日本学術振興会研究員審査会専門委員・国際事業委員会審査員、ぎふ技術革新センター運営協議会等を歴任する一方で、全国の様々な地域に赴き企業間連携などによる地域活性化促進に注力している。

＜仕事づくりの流れ＞

- ①自社は何屋さんか（素性を知って）
自分自身では気づきにくい自社の強みを知る。（要素技術と機能の抽出）
↓
- ②ビジョン描く（可能性を探って）
自社の要素技術と機能を活かし、誰を喜ばせることができるのかビジョンを描く。
↓
- ③仕事をつくる（形にする）
ビジョンに基づく製品・サービスづくりを行なう上で、その中核要素をあぶり出し、足りない部分を仲間の要素技術や機能と繋ぎ合わせ、新しい製品・サービスづくりを行なう。

🔄 **裏面もご覧ください。**

◇年間活動計画◇

第1回<バックキャスト思考を知る>

2017年3月14(火) 18:30~

会場/ ハートフルスクエアG 岐阜市橋本町1-10-23 TEL. 058-268-1050

終了しました。

第2回<自社の現状を知る①>

2017年5月31日(水) 18:30~

会場/ ハートフルスクエアG 岐阜市橋本町1-10-23 TEL. 058-268-1050

第3回<自社の現状を知る②>

2017年7月 日() 18:30~

会場/

第4回<技術表現技法を習得する>

2017年9月 日() 18:30~

会場/

第5回<自社の技術の関係性と可能性を探る>

2017年11月 日() 18:30~

会場/

第6回<ビジョン到達ストーリーを描く>

2018年1月 日() 18:30~

会場/

第7回<プレゼン大会>

2018年3月 日() 18:30~

会場/

※第3回以降の開催日時・会場は、決まり次第追ってご連絡申し上げます。
また、偶数月には、メンバーのみで進捗状況の交流を行いたいと考えています。

2017年5月31日(火) 第2回ぎふ仕事づくり部会

参加

不参加

(懇親会/ 参加 不参加)

企業名

役職

氏名

申込み先 ⇒ 岐阜県中小企業家同友会 本部 FAX<058>274-8798